

寄付講座開講一覧

科目区分	科目名	単位数	寄附組織名
経済学科/地域環境政策学科専門科目	沖縄の経済事情Ⅰ	2	沖縄県内各種金融機関
経済学科/地域環境政策学科専門科目	沖縄の経済事情Ⅱ	2	NPO法人 沖縄知の風
地域環境政策学科専門科目	政策金融論	2	沖縄振興開発金融公庫
産業情報学科専門科目	沖縄の航空事業と地域振興	2	日本トランスオーシャン航空株式会社
社会文化学科専門科目	沖縄ジャーナリズム論	2	沖縄タイムス社

※授業科目の目的や具体的な内容等は、シラバスで参照できます。

科目名をクリックするとその科目のシラバスのページまで移動する事ができます。

科目基本情報	科目名 沖縄の経済事情Ⅰ	期 別	曜日・時限	単 位
		後期	水 4	2
	担当者 _沖縄の経済事情Ⅰ教	対象年次	授業に関する問い合わせ	
		1 年	yando@okiu.ac.jp	

学びの準備	ねらい 沖縄県内の金融業界に関する業界研究・業界分析。	メッセージ 【実務経験】金融系企業14社の会社員が、勤務経験に基づき自社の特徴・具体的業務内容・業界事情・自身の職歴等について解説する。 金融業界に興味がある学生・就職希望の学生にお勧めします。 履修登録の対象は、「全学部1～3年生」。ただし定員超過の場合は経済学部3年生・2年生を優先する。
	到達目標 金融業界における業務の多様性を理解する。金融系企業の特徴を理解した上で、多数の企業に積極的に就職活動を行う。	

学びの実践	学びのヒント 授業計画		
	回	テーマ	時間外学習の内容
	1	ガイダンス・金融業界の基礎知識	<全回共通>
	2	銀行1	・新聞ニュースで金融経済を学ぶ
	3	信金	・可能な範囲で客として、
	4	損害保険会社1	金融系企業を利用し内部観察する
	5	銀行2	
	6	銀行系研究所	
	7	証券会社	
	8	日本銀行	
	9	銀行3・中間レポート提出	
	10	保証会社	
	11	損害保険会社2	
	12	リース会社	
	13	銀行4	
	14	損害保険会社3	
	15	銀行系カード会社	
	16	期末レポート提出	
	テキスト・参考文献・資料など 毎回資料を配布する。テキストなし。		
	学びの手立て 社会人講師による貴重な講義であることを理解し、真剣に取り組み、記録すること。 資料や記録は大切に保存し、就職活動時に役立ててほしい。 毎回、小レポートを記述し提出すること。		
	評価 平常点20％、提出物（小レポート、中間レポート、期末レポート）80％。		

学びの継続	次のステージ・関連科目 「金融論Ⅰ・Ⅱ」「証券市場論Ⅰ・Ⅱ」「金融投資Ⅰ・Ⅱ」
-------	---

※ポリシーとの関連性 地域経済の問題解決に必要な経済学関連の科目を提供。

[/一般講義]

科目基本情報	科目名	期 別	曜日・時限	単 位
	沖縄の経済事情Ⅱ	後期	土３・４	２
	担当者	対象年次	授業に関する問い合わせ	
	_沖縄の経済事情Ⅱ教	１年	itukoアットマークoku.ac.jp	

学びの準備	ねらい 金融の理論と実務を学ぶ。	メッセージ この授業は寄付講座で、県内5大学の教員・学生と一緒に学びます。金融機関への就職を強く望み、時間外のグループ学習についても積極的に取り組む意志を持った者のみ受講して下さい。 【実務経験を活かした授業を展開する】 ※受講対象：経済学部3年次が望ましい。
	到達目標 金融論の基礎的な理論および実務について説明できる。グループで金融に関連するテーマについて発表できる。	

学びの実践	学びのヒント 授業計画（テーマ・時間外学習の内容含む） 下記のとおり、場所や日にちがイレギュラーですのでご注意ください。 土曜日の3, 4時限目に行います。 ①～⑯は回数を示します。 (１) 10/5 キリスト教学大学 南3-5教室 ①ガイダンス②金融と経済について (２) 10/12 キリスト教学大学 南3-5教室 ③貨幣について④日本銀行による講演 (３) 10/19 沖縄国際大学 5-311教室 ⑤保険の基礎⑥大同火災にうよる講演 (４) 11/16 沖縄国際大学 5-311教室 ⑦金融機関の種類⑧グループワーク (５) 11/30 沖縄大学 3-305教室 ⑨大和証券による講演⑩中間発表会 (６) 12/7 琉球大学 法文新棟111 ⑪金融政策⑫グループワーク (７) 12/14 琉球大学 法文新棟111 ⑬沖縄銀行による講演⑭グループワーク (８) 12/21 沖縄国際大 5-311教室 ⑮最終発表会⑯OBOGとの情報交換会 ※上記時間外に、グループ発表に向けて教員やメンバーとの打ち合わせを行います。
	テキスト・参考文献・資料など テキスト：指定しない。毎回資料を配布する。参考文献：『金融入門』 岩田規久男(著) 東洋経済新報社 2008年、『図解これだけでわかる日本の金融』家森信善(著) 東洋経済新報社2006年、『金融のしくみ』ビックベン(編)ダイヤモンド社2003年、『金融システム』酒井良清・鹿野義昭(著)有斐閣アルマ2011年など。
	学びの手立て 授業は毎週実施ではなく、土曜日の3, 4時限目に集中で行います。具体的なスケジュールはポータルにて掲示します。
	評価 グループ発表（50％）＋レポート（50％）。原則として皆出席を求めます。

学びの継続	次のステージ・関連科目 「金融論ⅠⅡ」「証券市場論ⅠⅡ」「沖縄の経済事情Ⅰ（寄付講座）」
-------	--

※ポリシーとの関連性 地域経済の問題解決に必要な経済学関連の科目を提供。

[/一般講義]

科目基本情報	科目名	期 別	曜日・時限	単 位
	政策金融論	後期	水 4	2
	担当者	対象年次	授業に関する問い合わせ	
	政策金融論－教員	3 年	授業中もしくは終了後に教室にて受け付けます。	

学びの準備	ねらい 産業の振興や中小企業の育成等、政府が特定の政策目的を達成するために、政策金融機関を通じて財政資金の供給を行う「政策金融」の機能を理解し、沖縄振興における政策課題に対応した「政策金融」の役割について学ぶ。	メッセージ 沖縄公庫の現役金融マンが講義を担当します。 沖縄の実体経済や金融に関する最近の動向についても、トピックスとして適宜解説します。
	到達目標 ・財政投融资及び政策金融の機能を理解できる。 ・沖縄の実体経済・金融構造を把握できる。 ・沖縄振興策における政策金融の役割を理解できる。	

学びの実践	学びのヒント 授業計画		
	回	テーマ	時間外学習の内容
	1	ガイダンス	シラバスをよく読むこと
	2	市場経済と政府の役割	授業で配布した資料を復習
	3	財政投融资の仕組みと特徴	参考資料①
	4	財政投融资の規模の変遷と財投改革	同上
	5	沖縄の実体経済	参考資料②
	6	沖縄の金融構造	同上
	7	沖縄公庫の設立経緯と総合政策金融機能	参考資料③
	8	沖縄振興政策の課題の変化と公庫の対応	参考資料③④
	9	観光産業振興と沖縄公庫	参考資料③
	10	創業・ベンチャー支援と沖縄公庫	同上
	11	離島振興・地域活性化と沖縄公庫	同上
	12	駐留軍用地跡地利用と沖縄公庫	同上
	13	政策金融評価の概要	同上
	14	政策金融改革と沖縄公庫	同上
	15	まとめ	授業で配布した資料を復習
	16	レポート提出	授業で配布した資料を復習
学びの手立て	テキスト・参考文献・資料など ・テキストは使用せず、毎回講師が作成したレジュメを配布する。 ・参考資料（講義時に以下の資料を配布） ①「財政投融资リポート2018」（財務省刊） ②「沖縄経済ハンドブック2018年度版」（沖縄公庫刊） ③「Report2018」（沖縄公庫ディスクロージャー誌） ④「沖縄21世紀ビジョン 基本計画と実施計画」（沖縄県刊）		
	学びの手立て ・履修の心構え 日頃からメディアの金融・経済関連情報に意識を向けて接してもらいたい。		
	評価 平常点40%（出席状況に質問や発言を適宜加点します） レポート60%		

学びの継続	次のステージ・関連科目 「関連科目」金融論ⅠⅡ、財政学ⅠⅡ、沖縄経済論ⅠⅡ、経済政策総論ⅠⅡ
-------	---

科目基本情報	科目名	期 別	曜日・時限	単 位
	沖縄の航空事業と地域振興	後期	金 4	2
	担当者	対象年次	授業に関する問い合わせ	
	-名渡山 秋彦	1 年	講義終了後に教室で受け付けます	

学 び の 準 備	ねらい 沖縄県における航空産業は地理的特性から今後の発展可能性が注目される中、観光客の入域が5年連続で記録更新し、国際航空貨物基地として国際物流の拠点づくりや、航空機整備事業の立ち上げなどを中心とした地域振興策が進捗しており、非常に重要な位置づけとなっている。航空産業の学びを通しグローバル・地域の視点で地方創生・地域の活性化を担う人財の育成を目指します。	メッセージ 航空産業の理解を深めつつ地方創生・地域の活性化を担う人財の育成をめざして、沖縄に在る日本トランスオーシャン航空にて航空産業の運営に携わってきた実務経験者が寄付講座として実施するものです。
	到達目標 １）航空産業の基礎的な知識を習得し理解できる（専門性） ２）航空産業による地域振興をグローバル・地域の視点から捉えられる（地域・国際性） ３）沖縄における航空による地域振興策や必要な課題を発見し、振興や課題解決に向けて提案をすることができる（コミュニケーション・スキル、問題解決力）	

学 び の 実 践	学びのヒント 授業計画		
	回	テーマ	時間外学習の内容
	1	オリエンテーション、イントロダクション	
	2	航空事業の現状	WEB公開の授業資料にて学習。
	3	沖縄における航空の現状と課題	WEB公開の授業資料にて学習。
	4	離島航空政策	WEB公開の授業資料にて学習。
	5	沖縄の空港事情	WEB公開の授業資料にて学習。
	6	沖縄の観光戦略	WEB公開の授業資料にて学習。
	7	沖縄の観光インフラ	WEB公開の授業資料にて学習。
	8	航空物流と沖縄	WEB公開の授業資料にて学習。
学 び の 実 践	9	運航のしくみ（JTA運航乗務員、運航管理者による講義）	WEB公開の授業資料にて学習。
	10	航空の安全、保安、サービス（JTA客室乗務員による講義）	WEB公開の授業資料にて学習。
	11	整備事業の展開（JTA航空整備士による講義）	WEB公開の授業資料にて学習。
	12	那覇空港見学（航空事業の現状把握）	
	13	那覇空港見学（航空事業の現状把握）	
	14	うちな～の翼・J T Aの経営戦略	WEB公開の授業資料にて学習。
	15	まとめ	WEB公開の授業資料にて学習。
	16	期末試験	
	テキスト・参考文献・資料など 毎回、パワーポイント資料による講座を進行する。学生がインターネットにより閲覧可能な様にし、振り返りが行える様にする。 日本トランスオーシャン航空（JTA）ホームページ https://jta-okinawa.com/ 琉球エア・コンピューター（RAC）ホームページ http://www.churashima.net/rac/index.html その他、必要に応じて紹介する。		
	学びの手立て 授業中の私語、携帯電話の使用はやめて下さい。 講義で使用する授業資料等はWebで共有するので、予習・復習に活用して下さい。		
	評価 「評価方法・割合」 「期末試験35％、レポート60％（12回）、那覇空港見学レポート5％」 ただし、6回以上欠席した者は試験を受けることはできません。		

学 び の 継 続	次のステージ・関連科目 （関連科目）グローバル観光ビジネス、観光マーケティング
-----------------------	--

科目基本情報	科目名	期 別	曜日・時限	単 位
	沖縄ジャーナリズム論	後期	金 3	2
	担当者	対象年次	授業に関する問い合わせ	
	與那原良彦、安里努、山城紀子、崎濱秀光、福元大輔、大野享恭、具志堅学、下地広也、石川亮太、島袋晋作、黒島美奈子、與那覇里子、新垣綾子、城間陽介、阿部岳	1 年	times-okikoku@okinawatimes.co.jp(講師共用)、098(860)3538	

学びの準備	ねらい 沖縄の現在社会を知る上で必須の時事問題を中心に、沖縄ジャーナリズムの歩み、米軍基地問題、沖縄戦などを現役のデスク、記者、論説委員が解説する。報道を通して、ニュースの読み方、現代沖縄の問題を多様な視点から考える姿勢を学ぶ。	メッセージ 沖縄タイムスの一線で活躍する記者、日々の紙面づくりに取り組むデスクが、米軍基地問題から社会福祉まで幅広い視点で現代沖縄を解説します。ニュース一般の読み解き方も紹介します。
	到達目標 報道の現場の一線で活躍する記者の解説を通して、現代沖縄の社会を知るため、ニュースがつくりだされる過程から、その情報の読み解き方までを学ぶ。多様な視点から考える態度を習得する。	

学びの実践	学びのヒント 授業計画		
	回	テーマ	時間外学習の内容
	1	講義内容紹介と登録(与那原良彦)	
	2	N I Eで学ぶ新聞の読み方(安里努)	
	3	社説で読み解く沖縄問題(崎濱秀光)	
	4	沖縄戦と戦争犠牲としての「福祉」(山城紀子)	
	5	衆院3区補選と参院選の裏側(大野享恭)	
	6	基地問題の現在と県政の行方(福元大輔)	
	7	好調沖縄経済の実態と沖縄企業の可能性(島袋晋作)	
	8	事件から見える沖縄社会(城間陽介)	
学びの実践	9	米軍基地問題と報道(阿部岳)	
	10	地方報道の醍醐味(石川亮太)	
	11	沖縄戦を伝え続ける(新垣綾子)	
	12	事件はいかに報道されるか(山城響)	
	13	シャッターチャンスをつかむ(下地広也)	
	14	心をつかむ整理術(具志堅学)	
	15	新聞社のマイノリティー(黒島美奈子)	
	16	学期末テスト	
学びの実践	テキスト・参考文献・資料など 適宜レジュメを配布する		
	学びの手立て 講義では時事問題に毎回言及します。そのため事前の1週間の新聞を読んで講義に参加することが求められます。ネットニュースの形ではなく、紙の新聞を1面から社会面までを通して読む習慣を身につけて下さい。朝刊には新書1冊分の活字が記載されています。その中から必要なニュースを自在に読むことが出来る力を身につけることは、社会人としても必要なスキルです。特に地域紙は地域の話題に密着し、政治、経済、社会と学生のみなさんが住んでいる地域の視点からニュースを発信します。地域紙と全国紙を読むことを、大学生のころから心掛けてほしいと思います。		
	評価 出席、論文		

学びの継続	次のステージ・関連科目 社会・平和領域の選択科目
-------	-----------------------------